

第1回日本遺伝学会春季分科会のご報告

2019年3月8日に、国立遺伝学研究所にて第一回遺伝学会分科会「遺伝学の将来を考える」を開催しました。初めての試みでしたが、100名以上の方にご参加いただき、大変盛況な会となりました。

2題の研究基調講演では、遺伝学研究の新しい展開に、参加者一同大いに刺激を受けることができました。また「遺伝学の将来を考える」討論会では、遺伝学の黎明期から未来にわたるまで様々な観点から意見交換が行われ、各々遺伝学について考えるきっかけになったと思います。

本分科会のメインイベントであるポスター発表では、全国から集まった50題のポスターが遺伝研の講堂を埋め尽くし、白熱した議論がくりひろげられました。

参加者による投票により、以下の10名がポスター発表賞に選考され、副賞として会長よりアマゾンギフトカードが贈られました。受賞者のみなさん、おめでとうございます。

第一回遺伝学会分科会のポスター発表賞受賞者

矢野 大和さん（東北大 生命）

新井 健太さん（筑波大 生命環境科学研究科）

片平 泰弘さん（東海大 総合医学研究所）

今井 裕紀子さん（遺伝研 遺伝形質研究系，総研大）

井元 順一さん（遺伝研 ゲノム・進化，総研大）

樋口 拓人さん（東工大 生命理工）

Zdravkovic Aleksandar さん（Grad Sch Life Sci Tech, Tokyo Inst Tech）

Aisha Yesbolatova さん（Natl Inst Genet, ROIS, SOKENDAI）

細木 拓也さん（遺伝研，総研大）

岡本 尚さん（遺伝研 遺伝形質，総研大）

関係者一同、皆様のご協力に深く感謝いたします。

会長 小林武彦

実行委員 平田たつみ、野々村賢一